福井市PPP/PFI導入基本方針 概要版

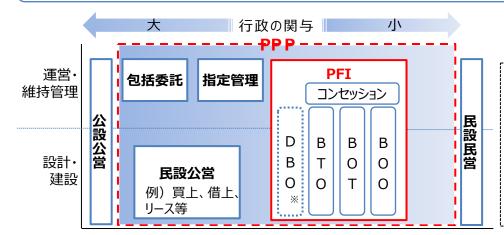
1 PPP/PFIについて

(1) PPP*/PFI*とは

※PPP (Public Private Partnership: パブリック プライベート パートナーシップ) **※PFI**(Private Finance Initiative:プライベートファイナンスイニシアティブ)

PPPとは、行政と民間が連携し、お互いの強みを生かすことにより、最適な公共サービスの提供を目指す考え方。 (例:PFI、指定管理者制度、包括的民間委託など)

PFIとは、PPPの代表的な事業手法の一つ。民間の資金やノウハウを活用して公共施設の設計・建設・維持管 理・運営等を行い、市民サービスの向上とライフサイクルコストの削減を図るもの。(=PFI法で定める事業手法)



【ポイント】

行政の関与度が小さい ほど民間の自由度が高ま るため、民間ノウハウが活 用しやすい。

行政の関与については、 対象事業の特徴や条件 を踏まえ、個別に判断。

※DBO方式は、公共側が資金調達を行うため、PFIそのものではないが、その手続きは、PFIと同様。

(2) PPPの特徴と導入効果

PPPの特徴 ①性能発注 ②建設•運営 の一体発注 ③ライフサイクル コストの平準化 ④官民のリスク

分扣

など

PPPの導入効果

公共サービス水準の向上

民間の創意工夫により公共サービス 水準を上げ、市民満足度を向上。

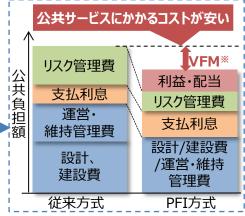
財政負担の軽減

民間の資金やノウハウの活用により事 業コストを削減し、財政負担を軽減。

地域経済の活性化

公共サービスを民間に開放することで、 民間の新たな事業機会を創出し、地 域経済を活性化。

(例)PFIの場合

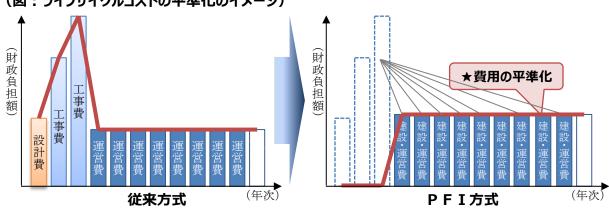


※VFM・・・従来方式と比べて総事業費をどれだけ 削減できるかを示す割合。 ※リスク管理費・・・・官と民とのリスク分担により、官

の費用負担が軽減

(例)物価・金利の変動、コストオーバー等

(図:ライフサイクルコストの平準化のイメージ)



(3) PFIの事業方式(代表例)

| 方式 | BTO方式 | BOT方式 | BOO方式 |
|-----|--|---|---|
| 説明 | ①民が建設(Build) ②公に所有権移管(Transfer) ③民が施設運営(Operate) | ①民が建設(Build) ②民が所有し運営(Operate) ③契約終了後、 公に所有権移管(Transfer) | ①民が建設(Build) ②民が所有(Own)し運営(Operate) ③契約終了後、民が自ら解体 |
| 所有権 | 公共 | 民⇒公共 | 民 |

※その他、コンセッション方式、RO方式、BT方式、DBO方式などがある。

(4) PFI全体プロセス(事業発案~事業実施までの流れ)



2 導入検討

(優先的検討規程)

1 対象事業

①事業内容が・・・

建築物又はプラントの整備等に関する事業 又は

利用料金の徴収を行う公共施設整備事業

②事業規模が・・・

施設建設費10億円以上の公共施設整備等事業

又は

単年度の事業費1億円以上の公共施設運営等事業



当該金額未満でも、民間活力の導入により市民サービス の向上や財政的効果が期待できる事業

2 採用手法の選択

- ✓ 施設の新設又は改修を伴うか
- ✓ 施設の運営や維持管理を一括委託するか
- ✓ 建設に民間資金を活用するか
- ・・・の判断により、BTOや指定管理者制度などの採用手法を選択。

3 簡易検討

定量評価:施設の整備規模、運営費等、各種条件からVFM確認 ⇒ 財政的なメリットが発生するかを評価



定性評価:民間ノウハウ活用の余地を確認

⇒ 民間の創意工夫が発揮されるか等を評価

導入可能性

がない場合

導入可能性 がある場合

4 詳細検討

導入可能な事業手法について、外部コンサルタントを活用して詳細に検討

導入可能性 がある場合

導入可能性 がない場合

5 結果の公表

PPP/PFI導入が適さないと評価した場合、導入しない理由・簡易評価 調書等を適切な時期にインターネット等で公表。

6 導入決定

詳細検討の結果、導入可能性があると評価された場合、適切な手法としてPPP/PFIの導入を決定